

知財情報活用講座（名古屋）

～パソコン演習・グループ討議で学ぶ知財情報活用の実践～



担当
講師

・ 講座コーディネーター

野崎 篤志（のざき あつし）

株式会社イーパテント代表取締役社長/知財情報コンサルタント

・ 担当講師

第 1/2/4 回 野崎 篤志（のざき あつし）

株式会社イーパテント代表取締役社長/知財情報コンサルタント

第 3 回 山口 和弘（やまぐち かずひろ）

創英国際特許法律事務所 弁理士

第 5 回 中村 栄（なかむら さかえ）

旭化成株式会社 研究・開発本部 知的財産部長

プリンシパルエキスパート

実施
日程

- 第 1 回：9 月 7 日（土） 14:10～17:20 日本弁理士会東海会 （野崎）
- 第 2 回：9 月 14 日（土） 10:10～13:20 日本弁理士会東海会 （野崎）
- 第 3 回：9 月 14 日（土） 14:10～17:20 日本弁理士会東海会 （山口和）
- 第 4 回：9 月 28 日（土） 10:10～13:20 日本弁理士会東海会 （野崎）
- 第 5 回：9 月 28 日（土） 14:10～17:20 日本弁理士会東海会 （中村）

受講料

50,000 円（税込・テキスト代込）


対象者

- ・ 知財経営コンサルタントを目指す方であり、知的財産情報（特に特許・意匠情報）をベースに、自社や支援先企業へ知財戦略策定や研究開発支援を行いたいと考えている方
- ・ パソコン演習やグループディスカッションを通じて知財情報調査・分析およびその活用に関する知識・スキルを体系的に習得したい方

受講者の声

- ・ パソコン演習があったおかげで、単なる座学に留まらず、実践のイメージができた。
- ・ パソコンを使って実際に演習できたことがよかった。
- ・ データ分析の演習があって興味深かった、データの読み方が新たに深められた。
- ・ いろいろな調査方法がある中で「型」を教えていただき、その活用方法を知ることができた。
- ・ 見様見真似であったところ、正しい情報を得ることができた。

<p>概要 ねらい</p>	<p>グローバル化が進展し、様々な製品・サービスがコモディティ化する現在において、戦略的な知的財産の活用によって事業戦略やビジネスモデルを確立・推進し、自社既存ビジネスの保護・発展および新規事業の開発が必要とされています。そのような業務を遂行できる「知財経営コンサルタント」として、企業の事業戦略および研究開発戦略策定に貢献するためには、知財情報の調査・分析を戦略的に行った上で、分析結果に基づく知財面からの解決策提示・戦略立案をする知識・スキルが必要とされます。</p> <p>本講義では、知財情報調査・分析業務に従事しているコーディネーターと特許事務所および企業の現場において実際に知財情報調査・分析結果を利用・活用されている講師陣からプログラムが構成されています。<u>単なる座学ベースの講座ではなく、事前課題、パソコン演習およびグループディスカッションも交えることによって知財情報を活用するための基礎知識およびスキル・テクニックを体系的に習得していただきます。</u></p>
<p>到達目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知財情報調査・分析について体系的な知識・スキルセットを習得する。 ・ 各種知財情報調査・分析について基礎知識を習得し、簡易的な先行技術調査や無効資料調査、侵害防止調査は J-PlatPat を用いて自ら実施することができる／複雑な知財情報調査・分析については外部調査機関をリードすることができる。 ・ 知財情報調査・分析結果をベースに、解決策提示・知財戦略立案を行うことができる。
<p>形式及び内容 (予定)</p>	<p>講義およびグループ討議形式 (★パソコン演習／☆グループディスカッション)</p> <p>**ノートパソコンは、受講者が各自で持参して下さい**</p> <p>第1回：知財情報調査・分析の基礎知識</p> <p>講師：野崎篤志氏（株式会社イーパテント 代表取締役社長/知財情報コンサルタント）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 知財情報調査の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ● 知財調査・分析の必要性 ● 知財調査・分析の種類とその目的 ● 知財調査・分析のステップ ● 各種知財調査・分析結果のまとめ方・アウトプット例 ② ★知財情報調査・分析で利用するデータベース <ul style="list-style-type: none"> ● 無料データベース・ツール ● 有料データベース・ツール ● データベースの種類と選択（公報単位・出願単位・ファミリー単位） ③ 事前課題の説明：J-PlatPat 等を用いた検索式（論理式）の作成（第2回前にメールで提出） <p>第2回：知財情報調査における実務スキル</p> <p>講師：野崎篤志氏（株式会社イーパテント 代表取締役社長/知財情報コンサルタント）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ★J-PlatPat を用いた特許検索式の作成・構築（第1回時の事前課題の解説を交えながら） <ul style="list-style-type: none"> ● 調査条件の設定 ● 検索キー（キーワード・特許分類）の選定 ● 検索キーの組み合わせ（特許検索マトリックス） ● データベース検索・リスト作成 ② ★意匠検索・商標検索 ③ ★調査目的別（出願前調査/無効資料調査/侵害防止調査）の検索式作成・構築の留意点 <p>第3回：弁理士業務と知財情報調査およびその活用シーン</p> <p>講師：山口和弘氏（創英国際特許法律事務所 弁理士）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 弁理士業務と特許調査 ② 特許調査の基礎知識・周辺知識 ③ ★調査目的別の業務の流れと留意点・・・出願前調査/無効資料調査/侵害防止調査 ④ ☆グループ討議・・・ニュース、裁判例等の具体的な事例をベースにして、先行技術調査（出願前調査・無効資料調査・侵害防止調査）を実施する際に検討すべき事項をディスカッション <p>* 事前課題の説明：パテントマップ事例に基づく母集団設計・マップの解釈（第4回前にメールで提出）</p> <p>第4回：知財情報分析における実務スキル</p> <p>講師：野崎篤志氏（株式会社イーパテント 代表取締役社長/知財情報コンサルタント）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 知財情報分析およびパテントマップの基礎知識

	<p>② 知財情報分析のデザイン ③ ★MS Excel および無料ツールを用いた知財情報分析 ④ ★パテントマップ・分析結果の解釈と、非知財情報の活用</p> <p>第5回：企業における知財情報分析および戦略策定</p> <p>講師：中村栄氏（旭化成株式会社 研究・開発本部 知的財産部長 プリンシパルエキスパート）</p> <p>① 旭化成グループの事業戦略・知財戦略 ② ☆業界・業種による知財戦略の違い ③ 企業における知財情報調査・分析の事例と情報解析ツール ④ 旭化成における IP ランドスケープ ⑤ ☆グループ討議：新規市場参入を図る上で必要となる知財情報分析および知財戦略の策定</p>
<p>事前読込 テキスト (推奨)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野崎篤志、弁理士が知っておきたい国内外特許情報調査の基礎知識、パテント、Vol.67、No.1、2014年（弁理士会ウェブサイト>出版・冊子>月刊「パテント」>過去の記事内容から PDF 閲覧可能） > http://www.jpaa.or.jp/old/activity/publication/patent/patent-library/patent-lib/201401/jpaapatent201401_031-042.pdf ・ 工業所有権情報・研修館、「知財情報の有効活用のための効果的な分析方法に関する調査研究」2010年 > http://www.inpit.go.jp/katsuyo/shiryo/shiryo00002.html
<p>参考書籍 参考資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野崎篤志、「調べるチカラ」、日本経済新聞出版社、2018年 ・ 野崎篤志、「特許情報分析とパテントマップ作成入門 改訂版」、発明推進協会、2016年 ・ 野崎篤志、「特許情報調査と検索テクニック入門」、発明推進協会、2015年 ・ 丸島儀一、「知的財産戦略」、ダイヤモンド社、2011年 ・ 鮫島正洋・小林誠、「知財戦略のススメ」、日経 BP、2016年 ・ 渋谷高弘ほか、「IP ランドスケープ経営戦略」、日本経済新聞出版社、2019年 ・ 久慈直登、「喧嘩の作法」、ウェッジ、2015年 ・ 久慈直登、「経営戦略としての知財」、CCC メディアハウス、2019年 ・ 東智朗・尼崎浩史、「できるサーチャーになるための 特許調査の知識と活用ノウハウ」、オーム社、2015年 ・ 特許庁、「戦略的な知的財産管理に向けて-技術経営力を高めるために-<知財戦略事例集>」、2007年 > http://www.jpo.go.jp/torikumi/hiroba/chiteki_keieiryoku.htm ・ 特許庁、「平成 28 年度高度な特許情報サービスの普及活用に関する調査」、2017年 > http://www.jpo.go.jp/shiryoutoushin/chousa/sangyou_zaisan_service_houkoku.htm ・ 工業所有権情報・研修館、「海外ビジネスで知っておきたい知的財産のポイント」eラーニング」 > http://www.jpo.go.jp/shiryoutoushin/chousa/sangyou_zaisan_service_houkoku.htm ・ 工業所有権情報・研修館、「グローバル知財マネジメント人材育成教材」、2017年 > http://www.inpit.go.jp/jinzai/global/global_material.html
<p>講師 略歴</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>◆野崎 篤志 氏 (株式会社イーパテント 代表取締役/知財情報コンサルタント)</p> <p>慶応義塾大学院理工学研究科修了（工学修士）、金沢工業大学院ビジネスアーキテクト専攻修了（経営情報修士）。日本技術貿易株式会社 IP 総研コンサルティングソリューショングループのマネージャーを経て、外資系特許調査・分析企業であるランドン IP 日本オフィス立ち上げ時にシニアディレクター（日本事業統括部長）として参画し、顧客開拓・マネジメント全般を統括し、日本におけるランドン IP の業績拡大・ブランド構築に大きく貢献。平成 29 年 5 月に知財情報コンサルティングサービスを提供する株式会社イーパテントを設立し、代表取締役社長に就任。</p> <p>自動車・エネルギーおよびヘルスケア分野を中心に技術動向分析、競合他社分析、知財デューデリジェンス、新規用途探索・アイデア創出などの知財情報コンサルティング業務に従事。</p> <p>著書に「調べるチカラ」（日本経済新聞出版社）、「特許情報分析とパテントマップ作成入門 改訂版」（発明推進協会）、「特許情報調査と検索テクニック入門」（発明推進協会）などがある他、論文・寄稿多数。金沢工業大学院 イノベーションマネジメント研究科 客員准教授（担当科目：特許情報実務徳論）、一般社団法人特許情報サービス業連合理事、発明推進協会講師、大阪発明協会講師などを歴任。</p> <p>平成 30 年度特許情報普及活動功労者表彰・特許庁長官賞受賞。</p> </div> </div>



◆山口 和弘 氏

(創英国際特許法律事務所・弁理士)

東京都立大学大学院修士課程(機械工学)修了。特許調査のほか、国内外の特許出願、審判、鑑定、コンサルタント等の知的財産関連業務を経験し、現在は知財関連の情報発信にも従事。2006年弁理士登録。日本国際知的財産保護協会 AIPPI 編集委員(2014年10月～現在)。日本弁理士会・中央知的財産研究所研究員(2013年2月～2016年3月、2017年10月～)、国際活動センター委員(2012年4月～2016年3月)等を歴任。論文に「Japanese Patent Litigation and Its Related Statistics - Current Environment and Future Agenda -」(AIPPI)、「ソフトウェア関連発明に関する特許適格性と進歩性との交錯の可能性」(日本弁理士会)など。



◆中村 栄 氏

(旭化成株式会社 研究・開発本部 知的財産部長

プリンシパルエキスパート)

1985年旭化成株式会社入社、研究所勤務の後、1989年より知的財産部勤務。1998年に組織された旭化成グループ全社の技術情報調査セクションの責任者に就任。2018年4月に設立された知財戦略室室長に、2018年10月に知的財産部長に就任。

京都大学大学院非常勤講師、東京農工大学大学院非常勤講師(2006～2008年)、横浜市立大客員講師(2010年～)のほか、講演・寄稿多数。また、2014年以降、日本知的財産協会 C9A コース(特許情報と特許調査実践)の講師を担当。一般財団法人 工業所有権協力センター(IPCC)主催 特許検索競技大会実行委員長(2015～2017年)、一般社団法人情報科学技術協会主催 3i 研究会において初代研究アドバイザーを歴任。平成28年度特許情報普及活動功労者表彰において人材育成功労者として特許庁長官賞を受賞。

Japio YEAR BOOK に「当社における特許マップへの取り組み」、「経営の方向性提案に資する 特許情報分析」、「企業における情報検索業務者(サーチャー)の育成」を寄稿。